

日伯経済交流促進委員会

委員会構成

委員長代行： 中山立夫
副委員長： 浅野 英樹
副委員長：



2008年度年間活動計画書

1. 第13回日伯経済合同委員会（於東京）の成功に向けた取り組み
2. 日伯経済関係の更なる強化を睨んだ要人往来活性化への取り組み（日本経団連投資ミッションや経済産業大臣の早期訪伯実現に向けた取り組み継続を含む）
3. 各種二国間経済協定の早期締結実現に向けた取り組み
 - 日伯EPA締結交渉開始に向けた両国政府への働きかけ
 - 日伯社会保障協定締結交渉の早期開始に向けた日本政府への働きかけ
4. ビジネス・投資環境の整備に向けた取り組み
 - 伯側民間諸経済団体（CNI、FIESP等）及びGIEを通じた他の外国商工会議所との連携強化
 - 日本側に於ける官民連携の強化（日本経団連、日本貿易会、在伯公館、JETRO、JBIC等との連携及び協働体制強化）
5. 日伯戦略的パートナーシップ賢人会議による両国首脳宛提言書のフォローアップ
6. 日伯交流年行事の内、各種経済関連イベント（展示会、セミナー、シンポジウム等）の成功に向けた支援。
7. 日伯経済関係強化に向けた広報・情報発信活動の強化（各種メディアへの対応、両国政府要人との意見交換等を含む）。

以上

2008年度活動報告

中山立夫委員長代行



大前孝雄委員長

日伯経済交流促進委員会の役割は、日伯間の経済交流を活性化し、以って当商工会議所会員企業のビジネス拡大に寄与することにあります。長らく低迷を続けた日伯政治・経済関係も、04年9月の小泉首相来伯並びに昨年5月のルーラ大統領訪日を機に回復の兆しを見せ始めていますが、まだまだ満足するには程遠い状態です。日伯経済交流促進委員会では更なる日伯経済関係の緊密化を目指し、日本経団連、ブラジル工業連盟（CNI）との連携により日伯経済連携協定（EPA）の締結に向けての作業を推進中です。引き続き皆様の絶大なるサポートを御願いします。

1. 第13回日伯経済合同委員会（於東京）の成功に向けた取り組み
7月のルーラ大統領訪日（洞爺湖サミット）の機会を捉えて東京で開催するべくCNI-経団連間の交渉を鋭意サポートせるも、大統領訪日スケジュールが直前まで決定しなかった為、最終的に7月開催は見合せざるを得なかった。明年の適切な時期に開催するべく引き続き関係者との調整を続ける。
2. 日伯経済関係の更なる強化を睨んだ要人往来活

性化への取り組み

6月の皇太子殿下、7月の甘利経産大臣(当時)他多数の日本側要人来伯に加え、4月のジルマ文官長、7月のルーラ大統領他多数の伯側要人訪日を、直接乃至経団連・日伯経済委員会を通じて、積極的に支援・接遇。

3. 各種二国間経済協定の早期締結実現に向けた取り組み

- 将来のEPA交渉開始を睨みつつ、先ずはその前段階としての日伯貿易投資合同促進委員会の立ち上げに成功。
- 10月、当地出張中の小出・厚労省国際年金課長と打ち合わせ実施。第三回日伯作業部会での議論を踏まえ、明年から社会保障協定締結を視野に入れた協議が両国当局間で開始されることが決定。

4. ビジネス・投資環境の整備に向けた取り組み

- 在伯大及び経産省との連携を通じ、日伯貿易投資合同促進委員会の立ち上げに成功。
- 11月の第1回会合開催に向け当会議所メンバ一企業にアンケートを実施(会合自体は明年前半に延期)。

5. 日伯交流年行事の内、各種経済関連イベント(展示会、セミナー、シンポジウム等)の成功に向けた支援。

経団連・日伯経済委員会及び日伯交流年実行委員会の対応窓口として、1月の交流年開始式典(木村外務副大臣他)、6月の交流年式典(皇太子殿下、麻生議連会長他)他多数の交流年イベントを民間の立場より全面的に支援。

又、1月には日本経済新聞社及び当会議所共催の日本ブラジル経済シンポジウムも成功裡に実施。

2008年度活動報告

6. 第13回日伯経済合同委員会(於東京)の成功に向けた取り組み

7月のルーラ大統領訪日(洞爺湖サミット)の機会を捉えて東京で開催するべくCNI-経団連間の交渉を鋭意サポートせるも、大統領訪日スケジュールが直前まで決定しなかった為、最終的に7月開催は見合せざるを得なかった。明年の適切な時期に開催するべく引き続き関係者との調整を続ける。

7. 日伯経済関係の更なる強化を睨んだ要人往来活

性化への取り組み

6月の皇太子殿下、7月の甘利経産大臣(当時)他多数の日本側要人来伯に加え、4月のジルマ文官長、7月のルーラ大統領他多数の伯側要人訪日を、直接乃至経団連・日伯経済委員会を通じて、積極的に支援・接遇。

8. 各種二国間経済協定の早期締結実現に向けた取り組み

- 将来のEPA交渉開始を睨みつつ、先ずはその前段階としての日伯貿易投資合同促進委員会の立ち上げに成功。
- 10月、当地出張中の小出・厚労省国際年金課長と打ち合わせ実施。第三回日伯作業部会での議論を踏まえ、明年から社会保障協定締結を視野に入れた協議が両国当局間で開始されることが決定。

9. ビジネス・投資環境の整備に向けた取り組み

- 在伯大及び経産省との連携を通じ、日伯貿易投資合同促進委員会の立ち上げに成功。
- 11月の第1回会合開催に向け当会議所メンバ一企業にアンケートを実施(会合自体は明年前半に延期)。

10. 日伯交流年行事の内、各種経済関連イベント(展示会、セミナー、シンポジウム等)の成功に向けた支援。

経団連・日伯経済委員会及び日伯交流年実行委員会の対応窓口として、1月の交流年開始式典(木村外務副大臣他)、6月の交流年式典(皇太子殿下、麻生議連会長他)他多数の交流年イベントを民間の立場より全面的に支援。

又、1月には日本経済新聞社及び当会議所共催の日本ブラジル経済シンポジウムも成功裡に実施。

バックナンバー

2007年 日伯経済交流促進委員会